

## 八間川クリーン大作戦 2024 活動記録

令和6年6月25日に両総用水排水受益地区の香取市八間川で特定外来生物『ナガエツルノゲイトウ』の駆除活動を行いました。

香取市では両総用水事業（国営事業）以前は洪水被害に悩まされていましたが、1期事業（S18～39）、2期事業（H5～26）を経て現在の八間川、第1排水機場が整備改修され洪水に悩むことなく稲作を行えるようになりました。

洪水時の稲刈り風景①



洪水時の稲刈り風景②



1期事業により新設された排水機場



2期事業後の排水機場周辺



地球上最悪の侵略的生物と呼ばれる南米原産のナガエツルノゲイトウは全国各所の河川、水田、水路等で繁茂しており、両総用水でも令和になり顕著に見られるようになりました。今回駆除活動を実施した八間川では排水ポンプを運転すると河川に繁茂しているナガエツルノゲイトウを引き込み、除塵施設に引っ掛かり停止してしまうため職員が昼夜問わず対応をしていました。



これまで河川管理者（千葉県香取土木事務所）により重機を使った駆除が実施されてきましたが、翌年には再び繁茂してしまう状況が続いていました。ナガエツルノゲイトウは数cm程度の断片からでも発根し再生してしまうので、徹底的な駆除が必要となります。関係者と協議していくなかで印旛沼クリーン大作戦に倣い人力での駆除活動を行うことになりました。

当日は9時より本部テントの設営、道具等の準備をし、9時30分より参加確認受付、10時より朝礼（事務局長挨拶・作業の説明）、朝礼後に作業を開始しました。

排水機場周辺は今春、河川管理者により除去を行っていたのですが、ネットフェンスがあったためバックホーが入ることが出来ず除去できなかった群落を処理する班、護岸に残った断片を回収する係に分かれて作業を開始しました。断片回収にはタマネギ等の野菜収穫用のネットを用意しました。断片を落とさず水が切れるので最適と考えました。



作業中



作業後



今回は第1回ということで1日のみ10時から15時までの4時間のみの実施としましたが、群落全部は無理でも護岸に定着している部分を切り離すことが出来れば可と考えていました。2日後には群落が水面を漂っていたので概ね作戦は成功したと思います。漂っている群落は再び護岸に定着する前に除塵機にて回収したいと考えています。

反省点は役割分担を決めていなかったことにより効率的に作業ができたとは言い難く、断片回収が十分に行えなかったことです。来年以降の活動に活かしたいと思います。

駆除したナガエツルノゲイトウは  $10\text{m} \times 10\text{m} \times \text{約 } 0.6\text{m}$  約 60 立米になりました。こちらについては乾燥後に河川管理者で処理していただけることになっています。

当初活動は24日を予定していましたが、前日までの降雨が河川水位に与える影響や作業時の足場を考慮し予備日の25日に延期しました。当初よりも人数は減りましたが、皆さまのご協力のおかげで今年度の排水機場は健全な状態で運転することができます。ありがとうございます。来年以降もぜひ参加していただきたく思います。



○参加者 計 91 名

両総土地改良区、香取市、千葉県農林水産部、関東農政局、独立行政法人水資源機構、NPO 美しい田園 21（いであ株式会社、株式会社三祐コンサルタンツ、株式会社森組、株式会社日本水工コンサルタント、株式会社丸島アクアシステム、大成建設株式会社、飛鳥建設株式会社、内外エンジニアリング株式会社、西田鉄工株式会社、日東河川工業株式会社、日本振興株式会社、プラウドエンジ株式会社、株木建設株式会社、株式会社加藤建設）、株式会社荏原電産、豊国工業株式会社、NTC コンサルタンツ株式会社、まるだい土木株式会社、千葉県土地改良事業団体連合会、鹿島川土地改良区

○協力

茂原市、一宮町、千葉県県土整備部、NPO 美しい田園 21（一般社団法人農業土木機械化協会、西松建設株式会社、日本工営株式会社）、NPO 法人ちば水土里支援パートナー、株式会社葵エンジニアリング

お問い合わせ先

両総土地改良区 調査管理課 調査係  
東金市東金 1163 番地

TEL:0475-52-3145 FAX:0475-52-2356

MAIL:ask@ryoso-lid.or.jp